



曉星小学校

Ecole de l'Etoile du Matin

校歌

北原白秋 作詞

山田耕筰 作曲

一、

来れ我に黎明 開け雲の翼

光あり燦らに 言ある星

暁星 暁星 我等が理想

二、

思え常に平和を 守れ人の信

響ありまさしく 空を呼ぶ旗

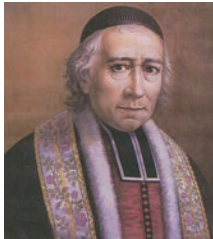
暁星 暁星 我等が希望





シャミナード神父とマリア会

暁星学園の母体は、福者シャミナード神父によって 1817 年、フランス ボルドー市で創立されたカトリック修道院「マリア会」です。暁星学園は、日本に 5 校あるマリアニストスクールの一つです。



福者 ギョーム・ヨゼフ・シャミナード

建学の精神

暁星学園の建学の精神は、キリスト教の理念に基づく教育によって、人格の完成をめざすとともに、社会の福祉に貢献する人間を育成することにあります。イエス・キリストは、神と人を愛する生き方が人間にふさわしい自己実現の道であると教えました。本学園の創立者アルフォンス・ヘンリック神父は、このイエス・キリストの教えを本学園教育の土台としました。



創立者 アルフォンス・ヘンリック

基本方針

・全人教育と個性尊重の教育 ・宗教教育 ・人格教育 ・正義と平和の教育 ・家庭的な校風



ごあいさつ

暁星小学校の建学の精神は、キリスト教の理念に基づく教育により、人格の完成をめざすとともに、社会の福祉に努める人物を育成することです。それは、「自分を大切にする」「他者を尊重する」「神を愛する」という教育理念として示されています。

「自分を大切にする」とは、自分のよさに気づき、個性を大切に能力を伸ばす努力をする姿です。また、「他者を尊重する」とは、さまざまな考え方や個性・能力をもった人たちと学び合い、支え合い、育ち合う生き方を表しています。そして、「神を愛する」とは、イエス・キリストが神と人を愛する生き方が人間にふさわしい自己実現の道であると教えてくださったことを示しています。

変化の激しい社会にあって、どのような状況の中でもたくましい「心と体」で生きていく力を身につけるように学校全体で取り組んでいます。「真・善・美」を愛する豊かな感性、知的好奇心と学びを探究する心、困難に対しても進んで挑戦する実行力、そうした力を支える基礎学力をしっかりと身につけさせること、それが暁星のめざす教育です。

私たちは、いつも神様からたくさんのお恵みをいただいています。このことに感謝する心を持ち、成長と共に身につけた力、技能などを周囲の人々と分かち合う、つまり、自分の力をより多くの人々のために惜しみなく使うこと、これが社会の福祉に努める人物の育成に繋がります。

本校には、「**困苦と欠乏に耐え、進んで鍛錬の道を選ぶ、気力のある少年以外は**この門をくぐってはならない」ということばが伝えられています。この精神を、望ましい形で「**鍛える教育**」として大切にしていきます。そして、次代を担うリーダーにふさわしい「心と体」を培っていきます。本校に学ぶ児童には、将来よきリーダーとして活躍し、よりよい社会をつくる上で前途有為の人材に成長していくことを期待しています。

学校長 吉川 直剛



宗教教育

神を愛し、人を愛する

「こころ」をはぐくむために、学校生活のさまざまな場面で宗教教育に取り組んでいます。児童は、毎日の祈りや宗教行事を通して、神様から自分がどれほど大切にされているか体験します。神様から大切にされているように、隣にいる人を大切にする心を育んでいます。



こころの教育

カトリック教育で育まれていく心の豊かさが、実生活の中でも相手に寄り添ったり、相手を憐れんだりするという形で表出できることが重要です。書籍や学校生活の出来事、現代社会の事象など、様々なことを教材に1年生は「いのち」、2年生は「正義」、3年生は「平和」、4年生は「多様性」、5年生は「奉仕」、6年生は「生き方」をテーマとして、6年間で6つのテーマが完結するように学んでいきます。



宗教行事

年間を通して、全児童が参加する宗教行事を行っています。学期ごとのミサに与ることで、どの児童も神様の祝福を受け、愛されていることを実感して欲しいと願っています。

- 1学期：イースターミサ／聖母月の献花
- 2学期：ロザリオの月のミサ・ロザリオの祈り
創立記念日ミサ／クリスマスの集い
- 3学期：シャミナードデーのミサ／感謝ミサ



宗教活動

毎日、始業の祈りで始まり、終業の祈りを通して学校生活を終わります。特に、毎週金曜日の宗教朝礼では、スクールチャプレンのお話を聞くことでキリスト教の理解を深めたり、聖歌を歌うことで豊かな心を培っています。毎月の献金日には、シャミナード委員会を中心に献金の呼びかけをポスター掲示を通して行っています。献金を通して、自分の何かを捧げることが誰かの助けにつながることを実感できるようにしています。



生活指導

節度と規律を重じる

生活指導は、団体生活を通じて児童が社会性を身につけ、節度と規律を大切にする姿勢を養います。学校生活の様々な場面で協力し合い、コミュニケーション力を発展させることで、将来の社会で積極的に参加し、誠実なリーダーシップを発揮できるようサポートしています。



あいさつ

あいさつは人間関係を築く第一歩です。朝の7時15分から8時まで、校門前で校長先生が児童を温かく迎えます。制帽を取りながら行うあいさつは、礼儀正しさを育みます。校舎内では、皆が笑顔で元気よくあいさつできるように心掛けています。このあいさつの習慣は、児童が相互尊重の精神を養い、友情や協力の芽生えを促進します。これにより、学校全体が温かく結ばれたコミュニティとなっています。



基本的生活習慣

基本的生活習慣は将来の人格形成に影響を与える重要な要素です。児童の個々の特性を尊重しつつ、集団での生活に必要な習慣を育むことに焦点を当てています。朝礼では、集合・整列に始まり、教室では注意深い態度や適切な言葉遣いなど、生活のあらゆる場面で必要なマナーを積極的に指導しています。これにより、児童は個人の成長だけでなく、共同体としての誇りと責任感も育むことができます。



安全教育

地震・火事・防犯の観点から年8回の避難訓練を行っています。また、ご家庭の方と一緒に下校し、通学路上の避難場所や登下校中に被災したときの約束を確認する引取訓練も行っています。地震や災害などの帰宅困難となった時の備えとして、校内に宿泊するための準備がしてあります。これにより、児童は安全への意識を高め、万が一の際は冷静かつ安全な行動ができるようになります。



学習指導

互恵的に学ぶ児童の育成

授業は、互いに恵みを与え合い、認め合いながら切磋琢磨していく“互恵的な学び”の場です。そして互恵的に学ぶ姿勢は、対話によって築かれています。対話を通すことによって価値観を共有し、信頼関係を築きあげていくことが、互恵的な学びのもとになると考え、各教科の中で、深い対話が生まれるような授業を目指して授業研究に取り組んでいます。



担任制・専科制

担任は、1・2年生では、国語・算数・生活科、3・4年生では国語・算数・社会を指導します。理・音・図・体・英・宗教、および図書指導は、教科ごとに専門の教員が指導します。担任はクラス単位で指導するのに対し、専科教員は1年生から6年生まで指導します。そのため、担任と専科教員それぞれの視点で、児童の様々な面を見ていくことができます。児童一人ひとりの課題を見極め、弱点を克服させながら児童の成長を見守ります。



学年内完全教科担任制

児童一人ひとりに得意な教科があるように、教師もそれぞれ専門分野を持っています。より高度な学びが求められる5・6年生では、担任も自分の専門分野を活かした教育ができるよう、「学年内完全教科担任制」の授業が行われます。たとえばA組の担任の専門が国語だった場合、5・6年生では、A組の担任が、ABC組すべての国語授業を担当します。専門分野を深く研究している教師が多い本校の特色を活かした教育制度です。



副担任制

1～6年生の各クラスには、専科教員が副担任として入り、朝礼や終礼、お弁当の時間に児童を補助します。日頃から担任と情報を共有し、児童の様子を理解している副担任は、宿泊行事を含むすべての教育活動の場面において、児童と同じ目線から物事を考えて必要な手助けをします。一つのクラスだけでなく、同学年のクラスを行き来する副担任がいることで、学年全体を多くの目で見守り、一人ひとりへの理解を深めることができます。



特色ある教育

暁星ならではの学び



ICT 教育

1年生から6年生まで各自1台iPadを持ち、学習活動に生かしています。普通の授業だけでなく、委員会、クラブ活動など学校生活全体で積極的に活用することで、これからの社会に対応した児童の育成を目指しています。また、インターネットを使う際の危険性やモラルについての安全教育も各学年で行い、正しく情報機器を使うことができるよう指導しています。



フランス語教育（1・2年）

マリア会の建学の精神に基づき、創立以来、その伝統を絶やすことなくフランス語を学び続けています。現在では、1・2年生の各学期末に、英語の授業内において、英語で学習した表現をフランス語でも学ぶ外国語の時間としてフランス語に触れる機会を設けています。授業は基本的にフランス語のみで行われますが、児童は元気にフランス語を話しています。



学年サッカー

本校では全学年、週に1度の学年サッカーの時間があります。1年生から4年生はボールを3つ使い、児童がボールに触れる機会を多くもてるよう配慮しています。試合は3試合のクラス対抗戦で行われます。5・6年生の学年サッカーは、児童の進行・審判によってフットサルの形式で6試合行われます。各学期末には日頃の技術や戦略を競うサッカー大会が開催されます。



読書・図書指導

児童が、生涯にわたる読書習慣を身につけ、読書の幅を広げられるように、1・2年生に週一回、図書指導を行っています。ビブリオバトルやお試し読書の開催、児童相互の図書紹介など、児童の興味関心が高まるような場の設定を心掛けると共に、図書館利用のルールに関する指導もします。季節や行事に関係のある本の読み聞かせや、ブックトークなどを児童は楽しみにしています。





セカンドスクール 帰属意識を養う体験

大自然の中で心身を鍛練し、自然を教材とした教育を目的としています。集団生活を通して、自己開発に努めて、共同体の一員としての意識、集団生活に必要な社会性や忍耐力、判断力、奉仕の心を養います。合宿で培った逞しさは、東京での生活でも児童をより一層輝かせます。



那須学年合宿

2年生から、春と秋の2回、学年に応じた日数を那須学舎で過ごします。合宿では、野外観察、オリエンテーリング、地元の小学校との交流などを行なっています。集団生活を通して、自己開発に努めて忍耐の精神を養い、教師と児童が共に活動し、共に食し、学ぶという師弟同行の教育を行っています。2年生から合宿生活を楽しむことから始まり、6年生では合宿生活全体を、自分達で運営していけるように努めることをめざしています。



那須体験合宿

夏休みの間、4～6年生の希望者によって実施されます。テント宿泊、川遊び、遊具作りなど学年合宿ではできない体験を通して、仲間とともに過ごす喜びを味わいます。

サッカー一般合宿

3年生4年生の希望者で夏季休業中に3泊4日で実施します。異学年でのチーム編成で、サッカーの試合のみならず、寝食を共にすることで、集団として生活することの大切さ、異学年での関わり大切さを学びます。

●各学年の宿泊数		
	春	秋
2年	2泊	2泊
3年	3泊	3泊
4年	4泊	4泊
5年	4泊	
6年	4泊	

※2月に5年生はスキー合宿、6年生は修学旅行を行います。



特別活動

よりよい生活を作る

選抜サッカー部

1964年に創部され、4年生から6年生まで各学年20名ほどで構成されています。主な活動は、朝練習・放課後練習・対外試合で、文武両道をめざして日々鍛錬しています。自分を律し、仲間と認め合うことで、サッカー技能だけではなく、内面的な成長も促します。



委員会活動

児童一人ひとりが学校の一員としての自覚を持ち、自分たちの学校生活をより豊かにしたいという自発的な気持ちに基づいて進められる自治的な活動です。5・6年生は一委員会に所属し、月一回木曜日の6時間目に各委員会の会議を開き、運営をします。

- ・役員会・シャミナード・放送
- ・保健・図書・運動・新聞掲示
- ・美化・飼育栽培・生活環境



聖歌隊

聖歌隊員は4年生から6年生の児童から希望者を募り、週3回（月・木・金）毎回1時間程の活動をしています。聖歌隊の役割は、建学の精神をいっそう活きたものにする為に、ミサ（感謝の祭儀）をはじめ、学校のすべての宗教活動において聖歌をもって奉仕しています。



ステラ

学校設立以来のフランス語教育を継承していくため、4年生から6年生までの希望する児童を対象に活動を行っています。フランス語に楽しむことを大切にしながら、語学習得だけにかたよらず、ステラの活動を通し、フランスの文化や歴史を味わったり、異文化理解へと繋げていったり、興味の幅が広がる活動を心がけています。

クラブ活動

共通の興味や関心を持った友達と、自発的かつ自的に行うことによって自主性・社会性を養う活動です。5・6年の児童は一クラブに所属し、毎週木曜日（委員会の週は除く）6時間目に活動します。

- ・野球・フットサル・図工・写真
- ・バスケットボール・生物化学
- ・チェス・卓球・ドッジボール
- ・プログラミング・鉄道研究





暁星兄弟

ずっと続く暁星の絆

1～6年生の同じクラス、番号の児童が兄弟となり、縦割り活動を通して暁星兄弟としての絆を深めます。そこで深めた絆は、学校生活はもちろん、中学、高校、大学、社会人となっても続きます。児童たちは、一生の友人、兄弟とかけがえのない学校生活を共に過ごします。



一年生を迎える会

クラス毎に6年生役員会の児童が計画を立て、一年生を歓迎します。2年生からは毎年、図工で制作したメダルがプレゼントされます。一年生が暁星兄弟に支えられながら、学校生活を安心して過ごすきっかけとなっています。



専科掃除

3～6年生の暁星兄弟が専科教室や校庭など、普段使っている場所を昼休みに毎日掃除しています。6年生は、3年生にほうきの使い方から指導します。そこで習った掃除の仕方が兄弟間を通して受け継がれていきます。

名刺交換会

1～6年生の暁星兄弟が集まり、自分の好きなスポーツやおすすめの本が書かれた名刺を交換して交流します。普段、あまり関わりのない学年の児童同士が絆を深めるための特別な交流の場所になっています。



暁星兄弟活動日

毎学期末、暁星兄弟活動日が設けられています。活動日には1～6年生の暁星兄弟がチームとなってゲームや企画を通して交流を行います。企画はすべて、5・6年生の役員会の児童が行っており児童中心の活動となっています。





制服

制服・制帽の着用を始めたのは、1902（明治35）年、日本の公立中学校と同じ資格を持つことを明らかにするためでした。制服は小学校が6つボタン、中学高等学校が7つボタンに襟章と袖口の細い金モールが特色で、フランス海軍の軍服がモデルでした。この基本デザインは現在も受け継がれています。



冬服



夏服



校内着



体操服

仕出し弁当

2020年度から、事前注文制の業者配達による仕出し弁当を導入しています。保護者の方のニーズに合わせ、ご活用いただいています。



年間行事

4月

始業式
入学式
1年生を迎える会
イースターミサ
校外学習（全学年）



入学式

5月

健康診断
那須合宿
聖母月の集い



聖母月の集い

6月

参観日
引き取り訓練
後援会総会



2年那須合宿

7月

校内サッカー大会
終業式
水泳実習
サッカー合宿



校内サッカー大会

8月

那須体験合宿
一般サッカー合宿
選抜サッカー合宿
聖歌隊合宿
ステラ合宿



那須体験合宿



水泳大会

9月

始業式
水泳大会
宿泊合宿
校外学習（1年）

10月

全校ミサ
運動会
参観日



運動会

11月

創立記念日ミサ
中学進学試験

12月

校外学習（6年）
校内サッカー大会
終業式
クリスマスの集い



生活科「クリスマスケーキ作り」



生活科「秋を集めて」

1月

始業式
校外学習（5年）
福者シャミナード記念日



長崎修学旅行

2月

参観日
校外学習（1～4年）
カトリック連合音楽会
スキー教室（5年）
修学旅行（6年）



お正月遊び

3月

校内サッカー大会
6年生を送る会
感謝の集い
修了式
卒業式



卒業式



チャペル



聖堂



体育館



図書室



相談室

施設環境



校庭



プレオ



ホール1



ホール2

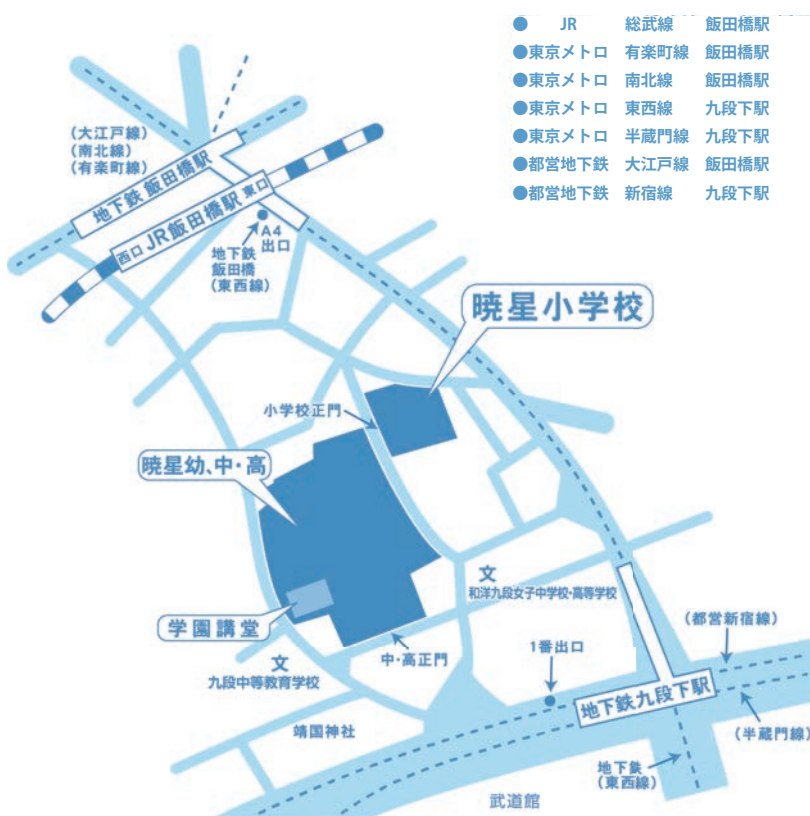
時間割

1・2年生

07:15	開門
08:07	朝礼・始業の祈り
08:25	朝のコンタクト
08:35 - 09:20	1 時間目
09:20 - 09:25	休憩
09:25 - 10:10	2 時間目
10:10 - 10:30	20 分休み
10:30	整列・移動
10:40 - 11:25	3 時間目
11:25 - 11:30	休憩
11:35 - 12:15	4 時間目
12:15 - 12:55	昼食・昼休み
12:55 - 13:10	清掃
13:15 - 14:00	5 時間目
14:05	帰りのコンタクト
15:45	閉門

3～6年生

07:15	開門
08:07	朝礼・始業の祈り
08:25	朝のコンタクト
08:35 - 09:20	1 時間目
09:20 - 09:25	休憩
09:25 - 10:10	2 時間目
10:10 - 10:30	20 分休み
10:30	整列・移動
10:40 - 11:25	3 時間目
11:25 - 11:30	休憩
11:35 - 12:15	4 時間目
12:15 - 12:55	昼食・昼休み
12:55 - 13:10	清掃
13:15 - 14:00	5 時間目
14:05 - 14:50	6 時間目
14:55	帰りのコンタクト
15:45	閉門



暁星小学校

<https://www.gyosei-e.ed.jp/> 〒 102-0071 東京都千代田区富士見 1-1-13 TEL:03-3261-1510